

# 2019年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号  
05010103

## 1. 計画名称

茅野市道路河川等整備計画

## 2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	順調	説明	第2期橋梁長寿命化計画を策定し、修繕計画を立てた。舗装集中修繕第1期工事が完了した。(5年計画L=26,493mに対し実施済L=22,790m) 計画的に進めることができている。
今後の重点化施策番号	3	説明	橋梁修繕は、第2期橋梁長寿命化計画に基づき、舗装修繕は、第2期舗装集中修繕(5年計画L=15,700m)を計画的に進める必要がある。また、交付金事業の舗装修繕事業は、交付金の内示率が低く、計画的に進捗できるか不安であり、財政面への影響が課題ではあるが、引続き両計画を計画的に進めることが、喫緊の課題である。関係する市民団体はない。

## 3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	道路・河川管理対策	おおむね順調	1 定期的な道路パトロールを行っていることで一定の成果はある。 2 道・水路の境界による問題の発生を抑制するために、未登記道路の解消を継続的に行っている。	1 精度の高い情報提供が必要。 2、未登記道路の解消は継続的に行っているが、数年で解消できるものではないため、粘り強く取り組む必要がある。	1 精度の高い情報提供を得るためにHP、広報等で周知しているが、引き続き研究・調査する。 2 日々の境界立会いにおいて解消可能な場合は、後回しせず関係者と協議する。
2	道路・河川維持対策	おおむね順調	地区要望箇所は概ね対応した。(90.7%)	地区要望のほか、市内の施設は老朽化し、修理は追いつかないのが現状である。	最少予算で最大効果が出るような工夫。 新工法の導入など
3	道路・河川建設対策	順調	5ヶ年で行った橋梁点検を基に第2期橋梁長寿命化計画の策定を行い、修繕計画の立案がされた。舗装集中修繕事業は、第1期工事に位置付けた箇所が終了した。(L=22,790m) 交付金事業は橋梁修繕と、2級8号線が計画的に進められている。	橋梁修繕については国も推奨している事業であるので計画的に進める必要がある。交付金事業について、新規事業を含めた計画と、スケジュールを考慮した全体計画が必要である。	地元区からの要望事項を翌年度に対応し、市民の満足度を上げていきたい。社会情勢が変化していること(福沢工業団地、旧鬼場橋、1級17号線)に対し、交付金事業について全体計画の立案が必要である。
4	交通安全対策	順調	ハード面では、緊急性がある老朽化ミラーの更新を積極的に実施している。また、区・自治会等からの要望に対する整備も優先度により実施している。ソフト面についても、関係機関と連携して教室を実施し、子どもの事故防止に努めている。	昨年度と同様に施設整備に多くの費用が発生する。特に除雪で削れる道路区画線の更新は優先度が低くなりやすい。また、歩行者を守るポールの設置について要望が多いが、予算上、設置が限定してしまう。	各交通安全施設の設置に係る優先順位付けをしながら、更新が停滞している主要路線の路面標示を今後も積極的に実施する。
5	地籍調査対策	おおむね順調	・玉川8区(G,E,F I ,F II ①工程) 0.18km <sup>2</sup> ・玉川7区(F II ②,G,H工程)0.13km <sup>2</sup> の実施	補助金交付決定額に応じて事業量を定めているため、実施する面積は国の採択する事業量に左右されている。年度当初の事業計画では0.28km <sup>2</sup> の要望を行っていたが、要望額に対し約30%減の交付額の決定を受けたため補助額に応じた実施面積は0.18km <sup>2</sup> となった。	国の指示で「国土強靱化、防災減災対策」のエリアへの移行を促されているが、玉川のグリーンラインまでは現状の計画を維持するため、あと2年程度は国の指示に沿うことが出来ない。その間は事業要望量に対し通常の割当は受けられないため要望額の減額は認めない。玉川の計画完了次第、宮川高部に計画区域を変更し実施する。

※5つ以上の場合は裏面へ

## 4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称		関連市民団体はありません。	
開催回数			
参加延べ人数			

## 5. 添付資料

別紙「施策評価シート」